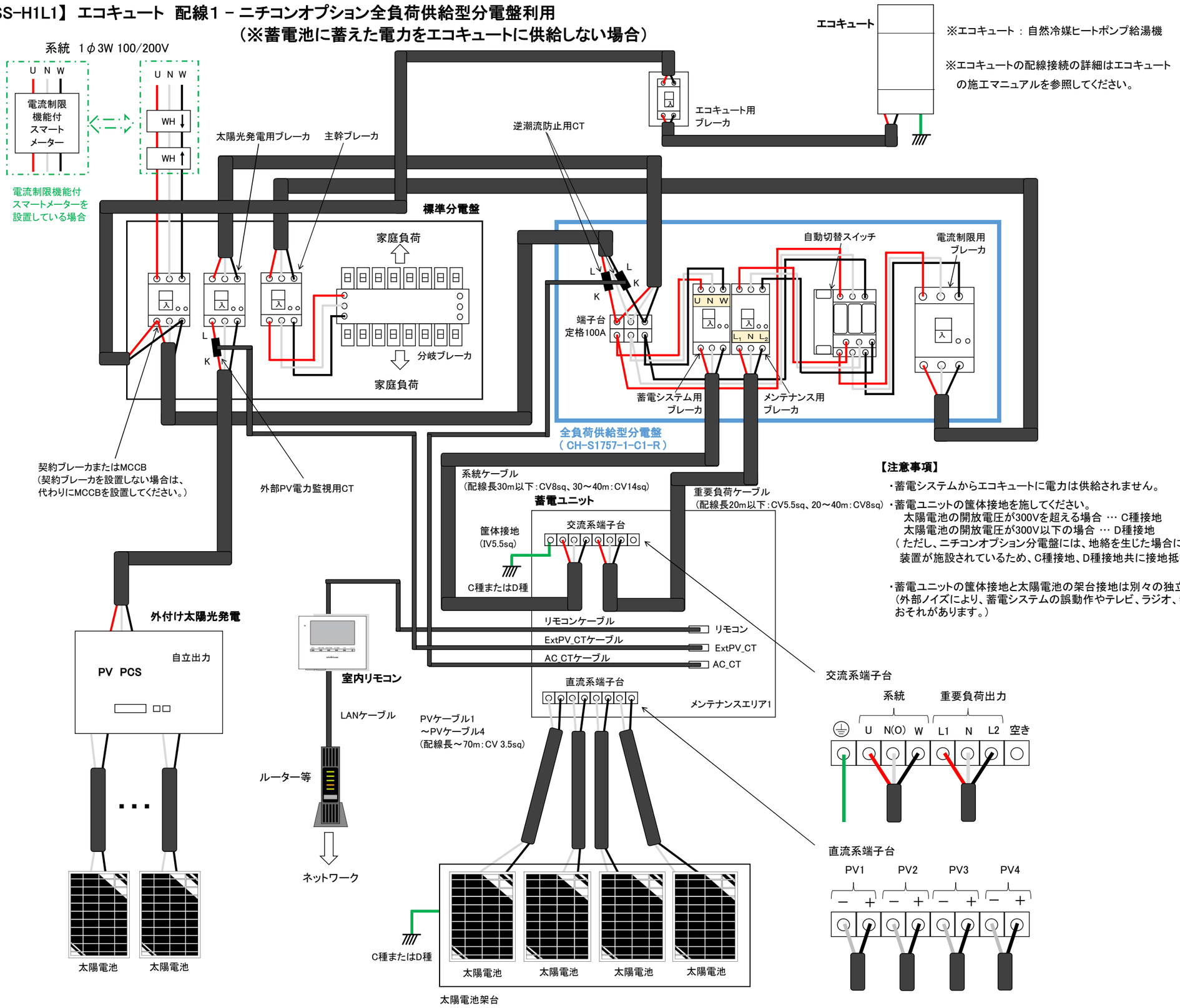
【ESS-H1L1】 エコキュート 配線1 – ニチコンオプション全負荷供給型分電盤利用
（※蓄電池に蓄えた電力をエコキュートに供給しない場合）



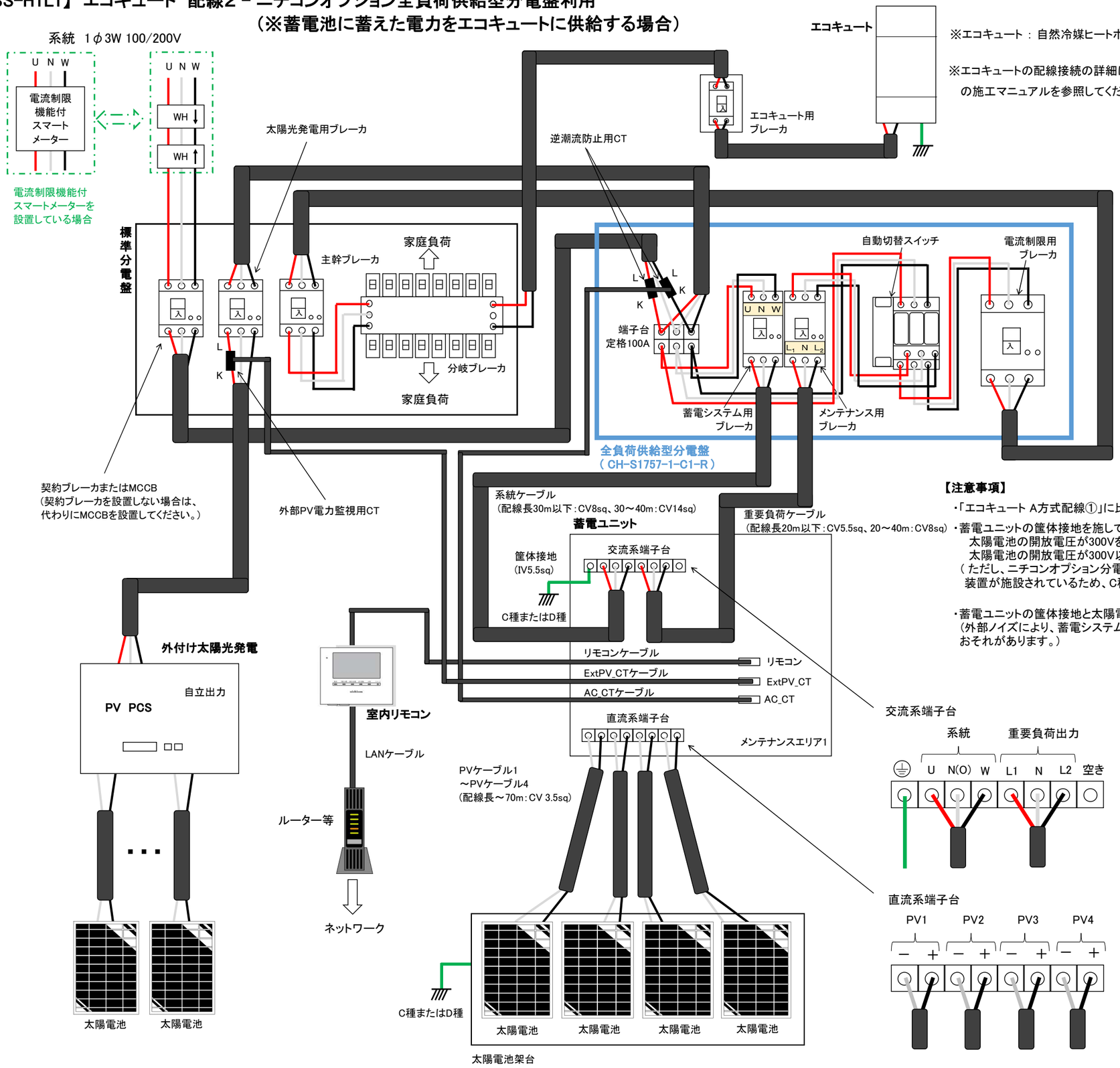
【注意事項】

・蓄電システムからエコキュートに電力は供給されません。

・蓄電ユニットの筐体接地を施してください。
太陽電池の開放電圧が300Vを超える場合 … C種接地
太陽電池の開放電圧が300V以下の場合 … D種接地
（ ただし、ニチコンオプション分電盤には、地絡を生じた場合に0.5秒以内に電路を自動的に遮断する装置が施設されているため、C種接地、D種接地共に接地抵抗値を500Ω以内にすることができます。）

・蓄電ユニットの筐体接地と太陽電池の架台接地は別々の独立した接地棒に接続してください。
（外部ノイズにより、蓄電システムの誤動作やテレビ、ラジオ、無線機器等への電波障害を引き起こすおそれがあります。）

【ESS-H1L1】 エコキュート 配線2 – ニチコンオプション全負荷供給型分電盤利用
（※蓄電池に蓄えた電力をエコキュートに供給する場合）



※エコキュート ： 自然冷媒ヒートポンプ給湯機

※エコキュートの配線接続の詳細はエコキュートの施工マニュアルを参照してください。

【注意事項】

・「エコキュート A方式配線①」に比べて、蓄電池の残量はエコキュートに供給する分だけ少なくなります。

・蓄電ユニットの筐体接地を施してください。
太陽電池の開放電圧が300Vを超える場合 … C種接地
太陽電池の開放電圧が300V以下の場合 … D種接地
（ただし、ニチコンオプション分電盤には、地絡を生じた場合に0.5秒以内に電路を自動的に遮断する装置が施設されているため、C種接地、D種接地共に接地抵抗値を500Ω以内にすることができます。）

・蓄電ユニットの筐体接地と太陽電池の架台接地は別々の独立した接地棒に接続してください。
（外部ノイズにより、蓄電システムの誤動作やテレビ、ラジオ、無線機器等への電波障害を引き起こすおそれがあります。）